

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
佐川町	斗賀野地区	2022年3月31日	2024年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	389.4	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	222	ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	99.4	ha
i うち後継者未定の農業者の耕世空面積の合計	51.7	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	16.5	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.8	ha
(備考)		

2 対象地区の課題

農業従事者の高齢化に伴い、耕作面積の減少や耕作放棄などが増えてきている。また、米の価格下落もあり、水稻の栽培面積も減少しており、飼料米やWCS、ショウガ、園芸作物などに切り替わってきている。

当地域では、集落営農が始められており、作付面積も増加してきているが、オペレーターの確保や機材の調達・管理などを検討していく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地集約化に関する方針

集落営農組織をはじめ、認定農業者や認定新規就農者など意欲のある担い手に中心経営体となってもらい、農地の集約化を図っていく。

中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
	(氏名・名称)	経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計						

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

耕作者放棄地解消への取組方針
中間管理機構の積極的な利用や、町独自の農地バンクを検討し、耕作放棄地が増加しない取り組みを進める。
基盤整備への取組方針
永野地域の南東部について整備を検討していく。
鳥獣被害防止策への取組方針
集落単位での防止策を検討していく。
農道・水路の維持管理方針
多面的機能支払や中山間事業を継続して活用し、地域で維持管理を図る。